第４４回北海道中学校バドミントン大会　参加心得

1　監督は当該学校の校長・教員であること。団体戦における外部指導者(コーチ)は，当該学校の校長が認めた者とする。マネージャーは当該学校の教員又は生徒とする。

2　団体戦でベンチに入れるのは，登録された監督・外部指導者(コーチ)又はマネージャー・選手のみとする。(コーチ又はマネージャーはどちらか１名)

3　個人戦でベンチに入れるのは，登録された監督・外部指導者（コーチ）又はマネージャーの２名までとする。ただし，シングルスの場合は練習相手として１名入場できるが，練習終了後，直ちに退場しなければならない。インターバル時は，監督・マネージャー・外部指導者（コーチ）を含めていずれか２名以内とする。

4　団体戦のオーダー用紙は，試合開始30分前にオーダー交換所に提出すること。

5　コートについて，団体戦及び個人戦とも，番号の若い方(プログラムで上に記載されている方)が主審の左側に入ること。

6　団体戦は，どちらかが初回戦のときは第２複まで行う。

7　試合前の練習時間については，挨拶の後，団体戦は３分とし，番号の若い方(プログラムで上に記載されている方)から行う。２コート同時に試合を行う場合は、１コートずつ使用して同時に行う。個人戦については，同時に３分間行う。

8　団体戦は，原則として１コートでオーダー順に行うが，進行の関係で２コートまたは３コート同時に進行することがある。この場合は，出来る限り監督に確認の上実施する。また、単・複に関係なく、先に終わった２試合で勝敗が決まった場合は、残った試合を打ち切りとする。

9　団体戦・個人戦とも，試合のコールがされたら，直接各コートに集合すること。

10　試合進行はできるだけタイムテーブルにそって進めるが，時間短縮のため，時間・コートの変更があるので放送に注意すること。

11　個人戦において，試合が連続する場合は10分の間をおく。

12　競技の服装(開会式を含む)は，大会開催要項通り、指定されたゼッケンを必ずつけること。

13　各ゲーム間のインターバルは２分以内とする。各ゲームで，どちらかの選手が11点になったときには，1分を越えないインターバルを取ることができる。

14　審判員の判定に対して疑問のあるときは，個人戦の場合は当該プレーヤー，団体戦の場合は当該プレーヤー又は監督が主審に質問できる。(大会運営規程第６章第３６条)

15　フラッシュでの写真撮影は禁止する。

16　試合中の水分補給は，基本的に主審が汗ふきタイムを認めたときに試合進行に影響が出ないように素早く済ませること。ただし，飲み物はスクイズボトルに入れること。

17　交換用ラケット（ケースから出しておく)、タオル、スクイズボトル等は指定のかごに入れること。氷のうはベンチ、コーチングシートの保冷バッグに入れて保管すること。(カゴには入れない)

18　フロア内での飲食やハードタイプのクーラーボックスの持ち込みは禁止します。

19　フロア内でのビデオ撮影は禁止する。

20　原則として試合に負けたチームの監督，外部指導者（コーチ)，マネージャー（教員）が主審をすることになるので，試合終了後，直ちに本部席で次の試合の審判用紙等を受け取ること。線審・得点係は，今大会については開催地の係生徒で行う。